

Microsoft Windows 向け
HP Operations Manager
9.0 用 Dell Smart Plug-in
バージョン 2.0
クイックインストールガイド



メモ



メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2011 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell™、DELL のロゴ、OpenManage™、PowerEdge™、および PowerVault™ は Dell Inc. の商標です。Microsoft® および Windows® は米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。VMware® および ESX Server™ は、米国および/またはその他の法域における VMware, Inc. の登録商標です。SUSE® は米国その他の国における Novell, Inc. の登録商標です。Red Hat Enterprise Linux® は米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。Linux® は Linus Torvalds の登録商標です。

商標または製品の権利を主張する事業体を表すためにその他の商標および社名が使用されていることがあります。それらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

2011 年 3 月

目次

1	はじめに	5
	前提条件	5
	WinRM のユーザー認証の設定	6
	Dell Smart プラグインインストーラへの アクセス	7
	Dell SPI のインストール	7
	Dell SPI のインストールの確認	8
	次に行う手順	9
	設定ユーティリティの使い方	11
	自動グループ化ポリシー用スケジュールの設定	12
	関連マニュアル	12

はじめに

本ガイドは、Microsoft Windows 向け HP Operations Manager 9.0 用 Dell Smart Plug-in (SPI) バージョン 2.0 のクイックインストールの手順を説明します。



メモ：このプラグインは 64 ビットのシステムに適応します。

前提条件

Dell Smart Plug-in をインストールするための前提条件は次のとおりです。

- HP Operations Manager (HPOM) 管理サーバーにおけるシステム管理者および HP_OVE_ADMIN 権限。
- Dell ESXi システムを監視するための WinRM 権限。

次のソフトウェアを管理サーバーにインストールします。

表 1-1. 管理サーバーのソフトウェア要件

要件	説明
HPOM 9.0	HPOM のインストールの詳細に関しては、HP サポートウェブサイトの『 HP Operations Manager 9.0 Installation Guide 』を参照してください。
SNMP サービス	SNMP をインストールし、有効化します。詳細については、 関連マニュアル を参照してください。
WinRM 2.0 サービス	WinRM バージョン 2.0 またはそれ以降をインストールおよび設定して、監視している Dell ESXi システムとの通信を確立します。詳細については、 WinRM のユーザー認証の設定 を参照してください。

表 1-2. 管理下システムのソフトウェア要件

要件	説明
オペレーティングシステム	サポートされている Windows または Linux オペレーティングシステム、またはサポートされている ESXi バージョンをインストールします。サポートされているオペレーティングシステムの詳細については、 関連マニュアル を参照してください。
SNMP サービス	SNMP サービスをインストールして有効化し、管理サーバーが管理下ノードと通信できることを確認します。詳細については、 関連マニュアル および 次に行う手順 を参照してください。
SNMP エージェント	SNMP エージェントを設定して、コミュニティ名の変更、 Get 操作の有効化、および HPOM 管理サーバーにトラップを送信することができるようにします。 Windows および Linux システムでの SNMP エージェントの設定についての詳細は、 関連マニュアル を参照してください。
Server Administrator	サポートされている Server Administrator のバージョンは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • Windows システム用 — バージョン 5.5 ~ 6.5 • ESXi および Linux システム用 — バージョン 6.1 ~ 6.5 ESXi 上に Server Administrator をインストールし、 OEM CIM プロバイダを有効にして、管理サーバーがシステムと通信できることを確認します。 Windows 、 ESXi 、および Linux システムのための SNMP の設定、または OEM CIM プロバイダの有効化についての詳細は、 関連マニュアル を参照してください。

WinRM のユーザー認証の設定

WinRM に関するユーザー認証を設定するには、次の手順を実行します。

- 1 お使いのシステムの **Windows** メニューで、**Start** (スタート) → **Run** (ファイル名を指定して実行) とクリックします。
- 2 `winrm configsdcl default` と入力し、**OK** をクリックします。
- 3 **Add** (追加) をクリックし、必要なローカルまたはドメインのユーザー、もしくはグループをリストに追加します。
- 4 それぞれのユーザーに適切な許可を提供し、**OK** をクリックします。

Dell Smart プラグインインストーラへのアクセス

Dell SPI インストーラ (**Dell Smart Plug-in v2.0_x64.msi**)、Readme ファイル、およびクイックインストールガイドは、自己解凍型実行ファイル **Dell Smart Plug-in v2.0_A00.exe** ファイルに収録されています。

Dell SPI のインストール

 **メモ**：Dell SPI のインストールまたはアンインストールを行う、あるいは Dell SPI インストーラで、**Repair**（修復）、**Modify**（変更）オプションを使用する場合は、事前に HPOM コンソールを閉じる必要があります。

HPOM 管理サーバーに Dell SPI をインストールするには次の手順を実行します。

- 1 デルサポートサイト **support.jp.dell.com** から Dell SPI インストーラをダウンロードします。
- 2 **Dell Smart Plug-in v2.0_A00.exe** の内容を管理サーバに抽出します。
- 3 **Dell Smart Plug-in v2.0_x64.msi** を実行します。
- 4 **Welcome**（ようこそ）画面で、**Next**（次へ）をクリックします。
- 5 **I accept the terms in the license agreement**（ライセンス契約に同意する）を選択して **Next**（次へ）をクリックします。
- 6 カスタム画面で、必要に応じて **Monitor Dell Windows Servers**（Dell Windows Server を監視する）、**Monitor Dell ESXi Servers**（Dell ESXi Server を監視する）、**Monitor Dell Linux Servers**（Dell Linux Server を監視する）オプションの 1 つまたは全部を選択します。

 **メモ**：選択したオプションに関連するサーバーを監視することができます。たとえば、**Monitor Dell ESXi Servers**（Dell ESXi Server を監視する）を選択した場合は、ESXi システムのみを監視できます。

- 7 ポリシーファイルをインストール中に自動で展開するには、**Yes**（はい）を選択します。これらを手動で管理サーバーに展開するには、**No**（いいえ）を選択します。

サマリ画面に、Dell SPI のインストール場所、展開されたポリシーファイル、インストールされたツール、および Dell SPI で監視されるシステムに関する情報が表示されます。

- 8 **Install**（インストール）をクリックします。
インストールが完了したら、**Finish**（終了）をクリックします。

Dell SPI のインストールの確認

Dell SPI のインストールを確認するには、次の手順を実行します。

- 1 HPOM コンソールを起動し、ポリシーがインストールされていることを確認します。

Policy Management (ポリシー管理) → **Policy Groups** (ポリシーグループ) → **SPI for Dell Devices** (Dell デバイス用 SPI) と移動します。

Dell デバイス用 SPI 下に次のポリシーが存在することを確認します。

- Dell_Autogroup_Servers
 - Dell_Process_SNMPTraps
 - Dell_Process_SNMPTraps_AckManual
 - Dell_Sched_Status_Update
- 2 自動展開ポリシーがポリシーインベントリ内にあることを確認します。
Nodes (ノード) で管理サーバーを右クリックし、**View** (表示) → **Policy Inventory** (ポリシーインベントリ) を選択して、次のポリシーを表示します。

- Dell_Autogroup_Servers
- Dell_Process_SNMPTraps
- Dell_Sched_Status_Update

- 3 次のツールが **Tools** (ツール) → **Dell OpenManage** に表示されていることを確認します。

- Server Administrator
- DWS Server Administrator



メモ : DWS Server Administrator ツールは、インストール中にカスタム画面で **Monitor Dell ESXi Servers** を選択した場合にのみ、利用可能です。

- 4 config ユーティリティがデフォルト、またはカスタムディレクトリにインストールされていることを確認します。デフォルトの場所は次のとおりです。

C:\Program Files\Dell\OpenManage Connection for HP

上記手順のいずれかに失敗した場合、前提条件をチェックしてから再試行してください。インストーラの **Modify** (変更)、**Repair** (修復)、および **Remove** (削除) オプションを使用するには、support.dell.com/manuals で『Microsoft Windows 向け HP Operations Manager 9.0 用 Dell Smart Plug-in バージョン 2.0 ユーザーズガイド』を参照してください。

次に行う手順

Dell SPI インストールには、通信パラメータの設定時に実行する必要があるコマンドラインユーティリティ **DellSPIConfigUtility.exe** が含まれています。Dell SPI のインストールが完了した後で、管理サーバーと各 Dell システム間の通信が正しく確立されるように、Windows と Linux システムについては SNMP パラメータの設定、ESXi システムについては WSMAN パラメータの設定を行う必要があります。

設定できるパラメータは次のとおりです。

- **WSMAN** 接続パラメータ：
 - ユーザー名
 - パスワード
 - タイムアウト
 - 認証機関チェック、共通名チェック、および失効チェックを含むセキュリティオプション
- **SNMP** のタイムアウトと再試行
- **DWS** の URL

Dell SPI のインストール時に **ESXi** システムの監視を有効にした場合にのみ、**WSMAN** 特有のオプションを使用できます。

表 1-3 では、WSMAN、SNMP および DWS にさまざまな値を設定するためにコマンドラインユーティリティが使用するオプションをリストします。

表 1-3. コマンドラインオプション

オプション	説明
-wsmanusername	ESXi システム上のローカルまたはドメインアカウントのユーザー名を指定します。このプロパティは、ESXi システムにアクセスするための認証用のユーザー名を確定します。
-wsmanpassword	指定したユーザー名のパスワードを指定します。
-wsmancacheck	証明書を発行した認証機関の認証をスキップします。指定できる値は yes または no です。デフォルト値は no です。この値に yes を設定すると、認証機関の認証がチェックされます。
-wsmancncheck	共通名 (CN) の認証を省略します。指定できる値は yes または no です。デフォルト値は no です。この値に yes を設定すると、共通名がチェックされます。
-wsmanrevocationcheck	WSMAN 接続において、サーバー証明書の失効ステータスをチェックするかどうかを示す値を指定します。指定できる値は yes または no です。デフォルト値は no です。この値に yes を設定すると、サーバー証明書の失効ステータスがチェックされます。
-wsmantimeout	WSMAN のタイムアウト値をミリ秒単位で指定します。デフォルト値は 30000 (30 秒) です。500 ~ 4294967290 ミリ秒の範囲の値を指定します。
-snmptimeout	SNMP のタイムアウト値をミリ秒単位で指定します。デフォルト値は 5000 (5 秒) です。100 ~ 4294967290 ミリ秒の範囲の値を指定します。
-snmpretries	SNMP の再試行回数を指定します。デフォルト値は 1 です。
-dwsurl	DWS の URL を指定します。無効な URL を指定したり、URL を空白のままにすることはできません。
-getall	すべてのオプションの値を指定し、それらを画面に表示します。このオプションは、 wsmanusername および wsmanpassword を除く各パラメータの値を取得します。

表 1-3. コマンドラインオプション

オプション	説明
-resetdefaults	設定可能なすべての値を、デフォルト値にリセットします。 メモ : このオプションを実行しても、 -wsmanusername および -wsmanpassword オプションで指定した値はリセットされません。
-help	このツールの使用方法についてのヘルプを表示します。

設定ユーティリティの使い方


設定ユーティリティを使用するには、次の手順を実行します。

- 1 管理サーバーでコマンドプロンプトを起動します。
- 2 **DellSPIConfigUtility.exe** に移動します。デフォルトの場所は、**C:\¥Program Files¥Dell¥OpenManage Connection for HP** です。
- 3 次のコマンドを入力します。

DellSPIConfigUtility.exe -< オプション >=< 値 > 次に **Enter** 押し
ます。

たとえば、WSMAN のタイムアウトを設定する場合は、次のコマンドを入
力します。


```
DellSPIConfigUtility.exe -wsmantimeout=500
```

 **メモ**: 無効な値を入力した場合、ユーティリティによりエラーメッセージとヘルプテキストが表示されます。


各オプションに対して、新しい値を指定しない場合、ユーティリティはそれぞ
れのデフォルト値を使用します。ただし、ESXi システムの監視を行う場合、**wsmanusername** および **wsmanpassword** の値を設定する必要があります。DWS URL の値も指定するようにしてください。

wsmanpassword の値を指定する場合は、コマンド

DellSPIConfigUtility.exe -wsmanpassword を入力し、**Enter** を押し
ます。-wsmanpassword の後に = を指定する必要はありません。パスワード
を最初に指定するときには、そのパスワードを 2 回入力する必要があります。
パスワードを変更する場合は、古いパスワードを入力してから、新しいパス
ワードを 2 回入力するプロンプトが表示されます。

 **メモ**: ユーザー名を変更した場合でも、ユーティリティによってパスワードを変更
するようプロンプトが表示されます。

wsmanusername および **wsmanpassword** を除いた各オプションの値を確認するには、`DellSPIConfigUtility.exe -< オプション >` と入力します。

 **メモ**：HPOM 8.1x から Dell SPI v1.1 がインストールされた HPOM 9.0 に移行した後、Dell SPI v2.0 をインストールする時は、まず自動グループ化を行って Dell システムをグループ化し、それから必要に応じた自動グループ化スケジュール（23 時間など）を設定します。

自動グループ化ポリシー用スケジュールの設定

自動グループ化ポリシー用のスケジュールを設定するには、次の手順を実行します。

- 1 **Policy Management**（ポリシー管理）→ **Policy Groups**（ポリシーグループ）→ **SPI for Dell Devices**（Dell デバイス用 SPI）と移動します。
- 2 **Dell_Autogroup_Servers** を選択します。
- 3 **Schedule**（スケジュール）タブで、ドロップダウンメニューの任意のオプションを選択し、希望のスケジュールを入力します。
- 4 **Save and Close**（保存して閉じる）をクリックします。

関連マニュアル

このガイド以外にも、デルサポートサイト support.dell.com/manuals から次のガイドを入手できます。マニュアルページで、**Software**（ソフトウェア）→ **System Management**（システム管理）をクリックします。右側で製品をクリックし、関連するマニュアルにアクセスします。

- 『Microsoft Windows 向け HP Operations Manager 9.0 用 Dell Smart Plug-in バージョン 2.0 ユーザーズガイド』
- 『Dell OpenManage Server Administrator ユーザーズガイド』
- 『Dell OpenManage With VMware ESX/ESXi 4 Systems Management Guide』